

2011年11月8日

## 医農薬中間体・原体の製造拠点を新設

**AGC** 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、当社子会社のAGC若狭化学株式会社（以下、AGC若狭化学）において、医農薬中間体・原体の工場を新設することを決定しました。新工場への投資額は37億円であり、稼働は2012年11月頃の予定です。これにより、医農薬中間体・原体の製造能力は現行のほぼ倍増となり、AGCグループは、当該事業の売上高を2014年に150億円以上とすることを目指します。

先進国における高齢化の進展や世界的な人口増加に伴う食糧問題などを背景に、医薬及び農薬の需要は引き続き伸びることが予想され、その製造に使用される中間体・原体の需要も拡大が見込まれます。これまで、当社グループでは、強みであるフッ素化学技術を活かしながら、フッ素化合物をはじめとする医農薬中間体及び原体を提供してきましたが、こうした需要の高まりを背景に、製造能力を大幅に高めることとしました。

このたび、新設を決定した工場は、当社グループにおける医農薬中間体・原体の4番目の製造拠点であり、その概要は以下の通りです。

### <新工場の概要>

1. 所在地 福井県三方上中郡若狭町若狭テクノバレー
2. 敷地面積 28,400m<sup>2</sup>
3. 製造品目 医農薬中間体・原体
4. 生産設備 反応器容量合計：140m<sup>3</sup>
5. 従業員数 約20名

AGCは、長年培ったフッ素化学技術を活かし、医農薬中間体・原体の分野でも、差別化された製品を提供することで、豊かな生活の実現に貢献していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株) 広報・IR室長 上田 敏裕  
(担当：杉山 TEL: 03-3218-5603、E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com))

<ご参考>

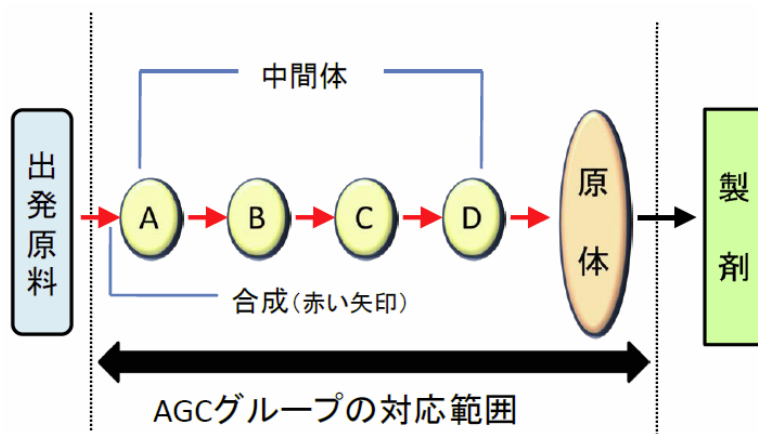
1. 医農薬中間体・原体の概要

(1) 用途

医薬中間体・原体：緑内障治療薬、抗菌剤

農薬中間体・原体：殺虫剤、殺菌剤

(2) 中間体・原体の合成フロー図



2. AGC若狭化学株式会社の概要

(1) 社 名 AGC若狭化学株式会社

(2) 所 在 地 福井県小浜市

(3) 資 本 金 9000万円

(4) 出資比率 AGC 100%

(5) 設 立 1998年

(6) 事業内容 医農薬中間体・原体等、ファインケミカル製品の製造・販売

(7) 従業員数 54人(2011年10月31日現在)